

入場無料
要・事前申込み

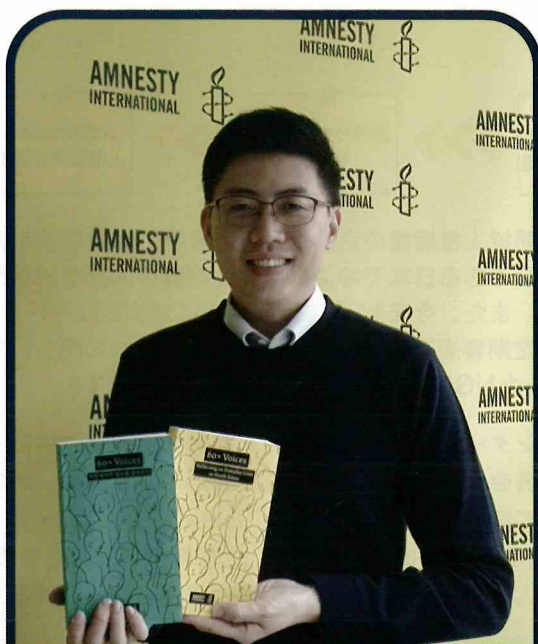
AMNESTY
INTERNATIONAL



アムネスティ・インターナショナル
韓国・日本 共同開催

～脱北者が語る～

闇に包まれた北朝鮮の人権危機



チェ・ジェフン

アムネスティ韓国（北朝鮮問題担当）



アン・ミョンチョル

North Korea Watch事務総長/脱北者



2024年6月10日(月)



開場17:40 開演18:00

会場：鎌倉市生涯学習センター（きらら鎌倉）第5集会室
鎌倉駅東口から徒歩3分

*予約された方は17:50までに受付をお済ませください。

今年1月15日、キム・ジョンウン（金正恩）総書記は韓国を「第1の敵国」としてみなすよう、憲法の改正を指示し、戦争も辞さないと表明しました。これにより、朝鮮半島を巡る情勢は一段と緊迫化し、北朝鮮国内の情報にアクセスすることさえ困難になっています。

いま、北朝鮮でいったい何が起きているのか――。危機に陥る北朝鮮の人権状況を伝えるべく、今回、アムネスティ韓国支部の北朝鮮問題担当者として、NORTH KOREA WATCH事務総長で脱北者でもあるアン・ミョンチョルさんが緊急来日。脱北者の最新証言集を基に北朝鮮の現状を詳しく解説します。さらに、自身が脱北者でもあるアン・ミョンチョルさんからは、北朝鮮時代の勤務地である政治囚収容所について貴重な証言をお伝えします。

●お問い合わせ・お申し込みはメールまたはお電話で（参加無料）



メール amnesty.kamakura@gmail.com
左のQRコードからも申し込みできます。

電話 090-2794-4853（サドトモ）
応募多数の場合、受付を終了することがあります。

主催：アムネスティ・インターナショナル日本 神奈川連絡会

アムネスティによる 北朝鮮人権擁護活動

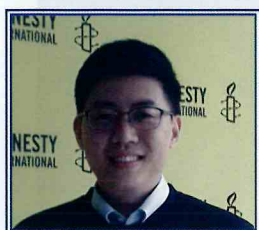
アムネスティ・インターナショナルは、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の劣悪な人権状況についての懸念を早い段階から表明していた国際団体のひとつです。アムネスティの北朝鮮人権擁護活動は、1960年代にさかのぼり、これまで北朝鮮の人権状況を調査した数多くの報告書を発表してきました。その報告書を基に国際的に情報を発信し、北朝鮮当局に改善を勧告するなど、北朝鮮の人権を改善するために様々なキャンペーンも行われてきました。

アムネスティ日本も、国内で金正恩委員長に要請ハガキを送る直接アクションや北朝鮮人権問題のNGOと情報交換を続け、活動を継続させてきました。



アムネスティ日本
コリアチーム・コーディネーター
川添友幸

アムネスティ 韓国来日の目的



アムネスティ韓国
チェ・ジェフン

アムネスティ韓国は、最前線に立って北朝鮮人権擁護の活動を続けてきました。朝鮮半島以外でも北朝鮮の動向に影響を受けている国である日本での活動は、北朝鮮の人権状況を改善するためにも不可欠であると考えています。また、今年11月には北朝鮮に対するUPR（Universal Periodic Review、普遍的定期審査）が国連で行われます。これに際し、今回私たちが4月初旬に国連人権理事会に提出したNGOレポートについてもお話しします。

【プロフィール】現在、アムネスティ・インターナショナル韓国の北朝鮮人権問題の担当として勤務。韓国国家人権委員会北朝鮮人権委員会の（委託）専門委員を務める。以前は、北朝鮮の政治囚収容所の生存者とその家族によって設立された人権NGO「North Korea Watch」に勤務。過去10年間に500人以上の脱北者に綿密なインタビューを行い、北朝鮮の人権侵害をまとめた経験を持つ。特に、北朝鮮社会における人権意識の変遷や、北朝鮮の収容施設における人権状況の変化に関心を持つ。

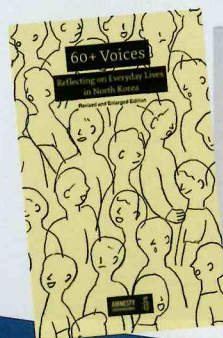


North Korea Watch
事務総長/脱北者
アン・ミョンチョル

【プロフィール】北朝鮮の政治囚収容所（総管理区域）について正確な証言をすることができる「唯一の生存者」。1987年から1994年まで、国家保安部第7局が管理する政治囚収容所の警備兵として勤務。韓国への亡命を認められた1994年10月、母、弟、妹が北朝鮮当局によって強制的に失踪。家族は政治囚収容所に収監され、今日に至るまで生死を確認する術はない。韓国入国後、2009年まで銀行員として勤務する傍ら、国際社会に北朝鮮の人権状況を訴え続け、英国議会（1996年、2007年）、ドイツ議会（1997年）、米国議会（1999年）、日本国会（2013年）、国連調査委員会公聴会（2013年）で証言。2013年よりNorth Korea Watch事務総長に着任。他の追従を許さない完全管理区域に関する情報を持ち、脱北者との膨大なネットワークを通じて北朝鮮の人権に関するさらなる情報を収集し発信し続けている。

本企画で得られる情報

- ①北朝鮮の最新の人権状況
- ②脱北者60名による証言のハイライト
- ③北朝鮮の政治囚収容所の情報
- ④国際社会に求められる役割
- ⑤北朝鮮UPRに向けたNGOレポート
- ⑥アムネスティ韓国の北朝鮮人権擁護活動



北朝鮮は2022年に約60人の脱北者からの証言をまとめた『60+ Voices』を出版。この証言集をベースに講演会が行われます。

◆無料ダウンロードページ▶

